



映画『男はつらいよ』の主人公・寅さんの故郷で4年ぶりに開催

葛飾納涼花火大会

令和5（2023）年7月25日、第57回葛飾納涼花火大会を開催します。4年ぶりの開催を盛り上げて、例年より大幅に打ち上げ数を増やした約2万発の花火が夜空を彩ります。会場の柴又には昭和レトロな街並み残り、映画『男はつらいよ』ゆかりの名所も点在していますので、花火の前にぜひお立ち寄りください。



◆国選定重要文化的景観・葛飾柴又を舞台に約2万発の花火を打ち上げる

「再始動」をテーマとした個性あふれる演出が満載

場くさいます。

葛飾納涼花火大会は、昭和20年代後半に柴又の自治会を中心とした地元有志が集まって花火を打ち上げたのが始まりといわれています。当初は市販の花火を地元の人が上げていたようですが、次第に河川敷に多くの人が集まるようになり、花火師が打ち上げる本格的な花火大会になりました。

花火の打ち上げ場所は、昔も今も葛飾区柴又野球場（江戸川河川敷）。観客席から打ち上げ場所までが非常に近いので、胸に響くような打ち上げ音が迫力満点です。毎年約70万人の方々が、都内屈指の臨場感を味わいにご来

場くさいます。コロナ禍による3年間の中止を経て、4年ぶりに開催する今年の花火大会のテーマは「再始動」。例年の1万3000発より大幅に打ち上げ数を増やし、過去最多の約2万発の花火を打ち上げます。オープニングからフィナーレまで、70分間を7つのステージで構成し、都内で初めて国選定重要文化的景観に選定された葛飾柴又を紹介する花火、コロナ禍で奮闘した方々に感謝を届ける花火、葛飾区のサッカークラブチームを応援する花火など、ステージごとに趣向を凝らした華やかな演出をお楽しみいただけます。

第57回葛飾納涼花火大会

日 時：令和5（2023）年7月25日（火曜）
午後7時20分～8時30分。※荒天の場合は中止
会 場：葛飾区柴又野球場（江戸川河川敷）
葛飾区柴又7-17-13地先
主 催：葛飾納涼花火大会実行委員会
（葛飾区・一般社団法人葛飾区観光協会）
事務局：葛飾区産業観光部観光課
葛飾区青戸7-2-1 テクノプラザかつしか2階
TEL03-3838-5558



葛飾柴又の文化的景観を 花火のステージで表現

平成30（2018）年2月13日、

「葛飾柴又の文化的景観」が日本を代表する景観地の一つとして、東京都で初めて国重要文化的景観に選定されました。文化的景観とは、自然が織りなす景勝地とは異なり、人と自然とが交互に関わり合いながら作り上げられてきた景勝地のことです。

オープニングステージに続く2つ目のステージ「葛飾柴又 文化的景観を彩る花火芸術」では、柴又の文化的景観について紹介するナレーションが流れる中、日本全国の花火師による古典的かつ芸術的な花火が打ち上がります。



帝釈天経寺境内



柴又八幡神社に伝わる
伝統行事・神獅子舞



矢切の渡し



コロナ禍からの復活を喜び 葛飾区の明るい未来を願う

3つ目のステージ「頑張ろう葛飾！ ワンチーム花火」は、コロナ禍における希望の光であり葛飾区のコミュニケーションマークの色でもある青色がテーマ。コロナ禍で奮闘した方々へ

の感謝を花火会社で創作したブルースターラインで届けます。

区の紋章を模した型物花火や音の出る花火が見どころの活気あふれるステージ「再始動！ 葛飾のチカラ」

葛飾区の歴史を花火・音楽・光で表現する「デジタルスターライン葛飾今昔物語」、漫画『キャプテン翼』の原作

者・高橋陽一先生が代表を務める葛飾区内のサッカーチームの応援ステージ「葛飾からJリーグへ！ 頑張れ！南葛SC」と続き、視界を覆い尽くすほどの銀カムロ花火が会場を包み込むグランドファイナーレで締めくくります。

◆花火大会の前に楽しみたい！ 昭和レトロな街並み散歩

柴又駅から参道を歩いて 柴又帝釈天題経寺へ

花火大会が開催される葛飾柴又は、映画『男はつらいよ』のロケ地として全国的にその名を知られています。

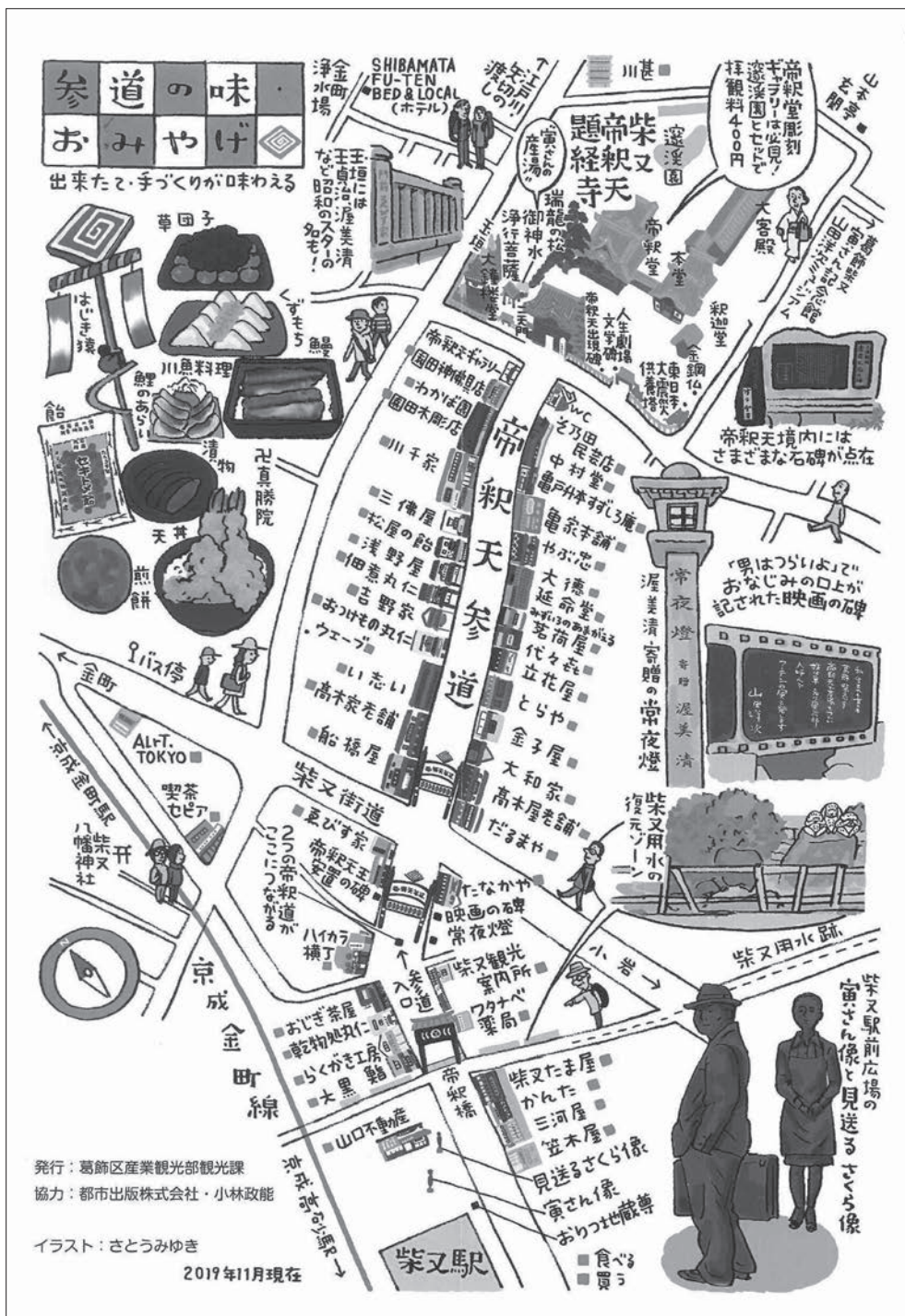
「フーテンの寅像」と「見送るさくら像」が建つ柴又駅前広場の先には帝釈天参道があり、映画の世界さながらの



帝釈天参道

昭和レトロな街並みが続きます。参道の両側に並ぶ団子屋、煎餅屋、館屋などの商店は手作りにこだわったところが多く、昔ながらの風情が漂います。参道を抜けると、柴又帝釈天題経寺。

寛永6（1629）年創建とされる日蓮宗寺院です。境内には二天門、帝釈堂、本堂、釈迦堂、客殿などが並び、法華経説話を題材にした彫刻が刻まれた帝釈堂彫刻ギャラリーは必見です。



帝釈天二天門



帝釈天彫刻

近代和風建築と日本庭園が魅力の「葛飾区山本亭」

葛飾区山本亭は、カメラ部品製造を行っていた山本工場の創立者山本栄之助氏の邸宅で、4代にわたって使われていたものを昭和63（1988）年に葛飾区が取得し、平成3（1991）年4月から一般公開しています。

山本亭の特徴は、伝統的な和風建築にガラス戸を多用した洋風建築を取り入れた近代和風建築と、純和風庭園にあります。庭園は池泉・築山・滝などを設けた典型的な書院庭園で、米国の日本庭園専門誌にランキンし続けるなど、国内外で高い評価を得ています。

映画『男はつらいよ』の世界が再現された「葛飾柴又寅さん記念館」

葛飾柴又寅さん記念館は、平成9（1997）年に開館した施設で、映画『男はつらいよ』の記憶のすべてがここに詰まっています。名誉館長は葛飾区の名誉区民でもある山田洋次監督。館内には映画で実際に使用された「くるまや」のセットが撮影所から移設され、実物の衣装や小道具、ジオラ

マ模型などを見ることができます。映画を見たことのない人でも寅さんと一緒に日本各地を旅する気分が味わえ、昭和という時代の雰囲気を感じ取ることができるのも魅力です。

併設のTORAsan cafeでは、特製TORAチーノ（カップチーノ）やメロンクリームソーダなどの飲み物や軽食が味わえます。

山田監督の想いに触れる「山田洋次ミュージアム」

山田洋次ミュージアムは、平成24（2012）年に開館しました。展示室は14のコーナーに分かれ、映画『男はつらいよ』誕生までの経緯、教育、家族、名作、喜劇、時代劇について、そして渥美清へのオマージュなど、半世紀にわたって映画を制作してきた山田監督の作品への想いに触れることができます。



葛飾区山本亭
住所：葛飾区柴又7-19-32 TEL：03-3657-8577
開館時間：9時～17時
休館日：第3火曜日（祝日・休日の場合は直後の平日）、12月第3火・水・木曜
入館料：一般100円（葛飾柴又寅さん記念館とセットで550円）



葛飾柴又寅さん記念館
住所：葛飾区柴又6-22-19（観光文化センター内）
TEL：03-3657-3455
開館時間：9時～17時（入館は16時30分まで）
休館日：第3火曜日（祝日・休日の場合は直後の平日）、12月第3火・水・木曜
入館料：一般500円（葛飾区山本亭とセットで550円）



山田洋次ミュージアム
住所：葛飾区柴又6-22-19（観光文化センター内）
TEL：03-3657-3455
開館時間：9時～17時（入館は16時30分まで）
休館日：第3火曜日（祝日・休日の場合は直後の平日）、12月第3火・水・木曜
入館料：葛飾柴又寅さん記念館とセットで一般500円

今年も「寅さんサミット」を開催します

令和5（2023）年11月3日と4日に「寅さんサミット」を開催します。今年で第9回目を迎えるこのイベントは「日本の原風景を守り、後世に伝える」をテーマに、映画『男はつらいよ』のロケ地となった日本各地の風景を「原風景」というキーワードで結び、これを大切に守り、育んでいく機会としています。

イベント当日には特設会場にて寅さんサミットに参加するロケ地の文化や芸能などを紹介するステージイベントや特産品の販売を行います。また帝釈天参道の店舗や寅さん記念館では限定商品の販売や福引イベントを実施し、寅さんの故郷・柴又を盛り上げます。